

神戸市 福建同郷懇親会姫路大会 舞子で

来年は神戸地区が担当、上海で開催

一九六一年の第一回大会以来毎年開催され、今年第四八回目を迎えた旅

○名が参集した。

日福建同郷懇親会の姫路大会が、神戸市垂水区の

式と歓迎宴が催された。

シーサイドホテル舞子ビ

国歌奏楽に続いて、同

大会実行委員長の陳昆儀

氏が「孫文先生ゆかりの

六日までの二泊三日の日

美しい景観に恵まれた地



第48回福建懇親会姫路大会参加者の記念撮影

であり、ここに沢山の同郷の参加を得て、姫路大会を開くことができ、こ

んなに嬉しいことはい

い。半世紀に及ぶわれ

れの懇親会は福建人の愛

国愛郷の意気を表わすも

ので、本当にすごいこと

とおもつ。この三日間、同

郷のみなさんには大いに

懇親を深めていただき

い」と主催者を代表して

歓迎のことばを述べた。

次いで来賓を代表して

祖国駐大阪総領事館の金

明煜領事が祝辞をのべ

た。大阪赴任前、大使館や

名古屋総領事館に四年間

勤務し、福建僑胞とも接

してきた金領事は、「福

建僑胞は多くの地域に居

住しており、勤勉真面目

で、祖国の改革開放にも

様々な貢献をしてきた。

今後、在日華僑華人には

激動、変化の時代が訪れ

るだろうが、みなさんに

は福建僑胞独特のパワー

を大いに発揮してほしい

い」との希望を表明した。

また、開会式に招かれ

て出席した地元神戸華僑

総会の鮑悦初会長も歓迎

とお祝いの挨拶をのべ

た。

今大会の名譽顧問林同

春氏が乾杯の音頭をと

り、歓迎宴に移った。歓

迎宴では若いはずらつと

した男女による賑やかな

阿波踊りと太鼓の文芸出

し物があり、福建僑胞た

ちに歓迎された。

会期中、参加者たちは

たがいに懇親を深めあつ

とともに観潮船で鳴門の

うずしおクルーズを楽し

んだり、鳴門市にある大

塚美術館を参観した。

大会最終日の二十六日

午前中、参加者たちはホ

テルにほど近い孫文記念

館を参観したのち、同ホ

テルをあとにして神戸・

神仙閣でのさよならパー

ティーに臨んだ。

席上、姫路大会の責任

者陳昆儀、林義常、閔阿

榮氏らより次期第四九回

大会を主催する(社)神戸福

建同郷会の石雅之理事長

らに大会旗と鍵の引き継

ぎ式が行われ、石雅之理

事長は「第四九回大会は

上海で開催します。日本

各地の郷友のみなさん、

来年上海でお会いしまし

よう！」と挨拶した。

閉会にあたり、姫路大

会実行委員会を代表して

閔阿榮実行副委員長がお

礼の挨拶に立ち、この中

で「初めて懇親会実行委

員会の仕事を担当した

が、多くのみなさんから

ねぎらいの言葉をかけて

いただき、大変感動し、

嬉しく思う」とその感慨

を吐露すると、会場は実

行委員会の労をねぎら

い、感謝をこめた大きな

拍手に包まれた。



次期開催の神戸地区代表石氏に引き継がれる大会鍵